



## 野辺地駅を

守り続ける

日本初の防雪林

明治二十四年、東北線が開通しましたが、大雪になるとたびたび汽車が止まりました。明治二十六年、造林の研究者本多清六博士の提案により、線路を雪から守るために杉の木を植えました。日本最初の防雪林です。今でも野辺地駅ホームの西側に二キロメートルにわたって七百年の杉林が行き交う電車を大雪から守っています。

### 防雪林（鉄道記念物指定）



## はまなすの

咲きほこる

十符ヶ浦海水浴場

十符とはスゲを十節に編んで作った敷物で、符は編み目の意味です。この敷物を昔はこの付近で作ったと言われることから十符ヶ浦という地名がついています。夏になると海水浴客や海で遊ぶ人、キャンプをする人達がたくさん来て楽しんでいきます。

### 十符ヶ浦海水浴場



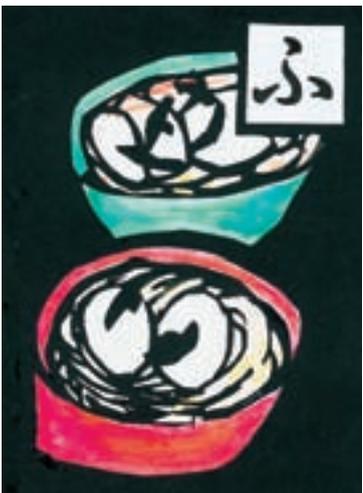
## 広々と

おつ湾を望む

まかど温泉スキー場

下北半島や陸奥湾をながめながら滑り下りるゲレンデはたくさんあるスキー客でにぎわっています。ライトに照らされたナイタースキーも人気があります。毎年、県や町が開催するスキー大会が行われて、オリンピック選手も誕生しています。野辺地の野村治三郎は日本で最初に外国からスキーを買いました。

### まかど温泉スキー場



## 古里の

自慢の味は

鶏卵と寄せ豆腐

野辺地の「食文化」には、南部地方に古くから伝わる料理がよく残されています。寄せ豆腐は、昆布と椎茸のだし汁に豆腐を入れて椀に盛っていただきます。鶏卵は団子の中に胡桃と餡を入れて、素揚げにして鶏卵団子を盛り付け、だし汁をかけていただきます。

### 寄せ豆腐・鶏卵